

大峰山周辺の観光名所



大峰山と椽平桜樹林

日本で最も小さい「楡形山脈」の中に標高399.5mの大峰山があります。

この大峰山には、ヤマザクラの野生種4種があり、自然交配が重なり**変種が生れ**、昭和7年に37種の変種が確認されました。学術的に珍しい地として、昭和9年に国の天然記念物に指定されました。

昭和40年代には、大峰山椽平桜樹林で発見されて、学名登録された桜が3種類あります。

現在、自然自生した1,000本のヤマザクラ系が群生。大峰山は年配の人たちにも楽に登れる日帰りハイキングコースとしても喜ばれ、桜の見頃にはたくさんの人たちが訪れます。



オクチョウジザクラ

カスミザクラ

ヤマザクラ

オオヤマザクラ

山裾には、「オクチョウジザクラ」、中腹付近には、「カスミザクラ」「ヤマザクラ」が多い

椽平付近には「オクチョウジザクラ」「オオヤマザクラ」「カスミザクラ」「ヤマザクラ」があり、山頂付近には、「オオヤマザクラ」が多く自生する。

混在して自生しているため、変種が多く生れ1965年に久保田秀夫氏と船津金松氏によって「オオオクチョウジザクラ」、「カスミオクチョウジザクラ」、「オオミネザクラ」の3種が学名登録されました。また、カスミオオヤマザクラなどもあるようです。大峰山椽平桜樹林に山桜が色とりどり咲くのは、今もまだ、珍しい変種が生まれているからです。

ふもとの桜公園には、桜の見本園となるように先人が園芸種の桜を植樹しました。100種類に近い桜を觀賞し学ぶことが出来ます。花期も長く、10月～6月まで咲きます。花の色や形、匂い、樹形や葉、実など1年中桜を觀賞し、研究出来ます。

調査編集 板垣一寿 引用および参考文献 新日本の桜 山と溪谷社 著者 大場秀章 川崎哲也 田中秀明